

民主市民連合 吹田市議会レポート

http://www.sutv.zaq.ne.jp/minsyusuita/

2004年(平成16年)通算3号
 連絡先：吹田市泉町1-3-40 TEL 6337-6859
 発行：民主市民連合吹田市議会議員団
 発行責任者：山本 力
 編集者：和田 学・竹内 忍一

議員団ご挨拶

七月十一日に実施された参議院選挙におきましては民主党へのご支援に心から感謝いたします。今回の選挙においてもマニフェストで民主党が地方政治について示した大前提は：「豊かな可能性をもつ日本の地域社会。そこには本来、人々のエネルギーが満ちているはず。しかし長い間の中央集権的な官主導の政治がその豊かなエネルギーの発現をおさえこんできました。そのエネルギーを解放し、日本中の地域社会に元気を取り戻すために必要なものは、「地域のことは地域で決める」という考え方。

市政に関するご意見がございましたら 最寄りの議員にご相談下さい

- 山本 力** (やまもと つとむ)
 - 建設委員会委員
 - 議会運営委員会委員
 - 吹田操車場等跡利用対策特別委員会委員
 - 農業者委員会委員
 - 情報公開推進委員会委員
 - 健康づくり推進事業団評議員
- 森本 彪** (もりもと たけし)
 - 建設委員会委員
 - 議会運営委員会委員
 - 吹田操車場等跡利用対策特別委員会委員
 - 農業者委員会委員
 - 情報公開推進委員会委員
 - 健康づくり推進事業団評議員
- 木村 裕** (きむら ゆたか)
 - 建設委員会委員
 - 議会運営委員会委員
 - 吹田操車場等跡利用対策特別委員会委員
 - 農業者委員会委員
 - 情報公開推進委員会委員
 - 健康づくり推進事業団評議員
- 和田 学** (わだ まなぶ)
 - 建設委員会委員
 - 市税審議会委員
 - 環境審議会委員
- 信田 邦彦** (のぶた くにひこ)
 - 財政総務委員会委員
 - 都市環境整備対策特別委員会委員
 - 議会だより編集委員
 - 住宅審議会委員
 - 総合計画審議会委員
 - 青少年問題協議会副会長
- 奥谷 正実** (おくたに まさみ)
 - 文教市民委員会委員
 - 議会運営委員会委員
 - 都市環境整備対策特別委員会副委員長
 - 国際交流協会評議員
 - 介護老人保健施設事業団評議員
 - 千里リサイクルプラザ評議員
- 竹内 忍一** (たけうち じんいち)
 - 文教市民委員会副委員長
 - 吹田操車場等跡利用対策特別委員会委員
 - 都市計画審議会委員
 - 環境審議会委員
 - 個人情報保護審議会委員
- 木村 裕** (きむら ゆたか)
 - 財政総務委員会委員
 - 監査委員
 - 市税審議会委員
 - 国民健康保険連合協議会委員
- 由上 勇** (ゆかみ いさむ)
 - 福祉環境委員会委員
 - 吹田操車場等跡利用対策特別委員会副委員長
 - 吹田右岸水防事務所合議会議長
 - 都市計画審議会委員
 - 医療審議会委員
 - 福祉審議会委員

民主党はそんな視点から、税財源や権限を大胆に地方に委譲し、地域の再生をすすめます。...というものでした。この考えに立って民主市民連合市議員団は将来の吹田市が自主的、自立的に、また、住民主権によって豊かな地域社会作りができるように活動していきます。今後とも市民の皆様のご指導とご理解をいただきますようお願い申し上げます。

委員会報告 その1

文教市民委員会

文教市民委員会の主な所管事項は教育委員会と市民文化部に係ることです。先日、福井県武生市・富山市へ行政視察に行ってきました。武生市では中学校給食「スクールランチ」の現状と景観のまちづくり「蔵の辻」を見ました。富山市では商店街の空き店舗活性化事業として「フリークポケット」、旧家保存活用事例として「旧浮田家住宅」を見学してきました。

本市においても中学校給食を実施するための課題整理、都市景観の保全、商店街の活性化、歴史文化まちづくりセンター(愛称：浜屋敷)や旧西尾邸の活用方策など、真摯な姿勢で受け止めなければならぬ課題がたくさんあります。九月議会が始まるまでの期間、行政視察や委員会、審議会、評議会などの活動を積極的に、市政に対して政策提言をして参ります。本年度も市政において慎重に審議をしていくべき課題がたくさんありますので、市民の皆さまからの引き続きのご指導をよろしくお願い致します。

福祉環境委員会

先日福祉環境委員会での最も重要とされる懸案事項の一つである、吹田市のゴミ焼却施設問題について九州の大分市へ最新の焼却炉の施設を視察してまいりました。ここは、溶融炉方式なので、吹田市が目指している方式とは異なりましたが、導入手法など参考になりました。また、今一番の社会的な問題である児童虐待について、別府市にて先進的な取り組みをされているので、大いに参考になる意見を聞いてまいりました。今後、議会活動を通じて吹田市に対し視察の報告についてどうし意見を述べます。

更に、吹田市の大きな問題の一つに旧吹田操車場跡地利用に関する環境影響評価に対する、阪口市長の意見書があります。八月九日に出されましたが、充分な環境保全対策をしていただきたいと考えます。また、吹田市は健康都市宣言をしている町として安心、安全、健康的なまちを目指すのは当然であります。旧南焼却場跡地のダイオキシン対策についても現在万全を期すため最大限の努力をしています。市政に対し今後も引き続き指導、監督をしてまいります。

梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画 および跡地利用に関する課題



平成十一年、(現)鉄道運輸機構、JR貨物、大阪府、吹田市、摂津市の五者間にて基本協定が締結されました。その協定書に基づいて鉄道運輸機構及びJR貨物が誠実に記載事項を履行しなければなりません。前提として、この五者間による基本協定書に基づく合意がなければ事業は始まりません。

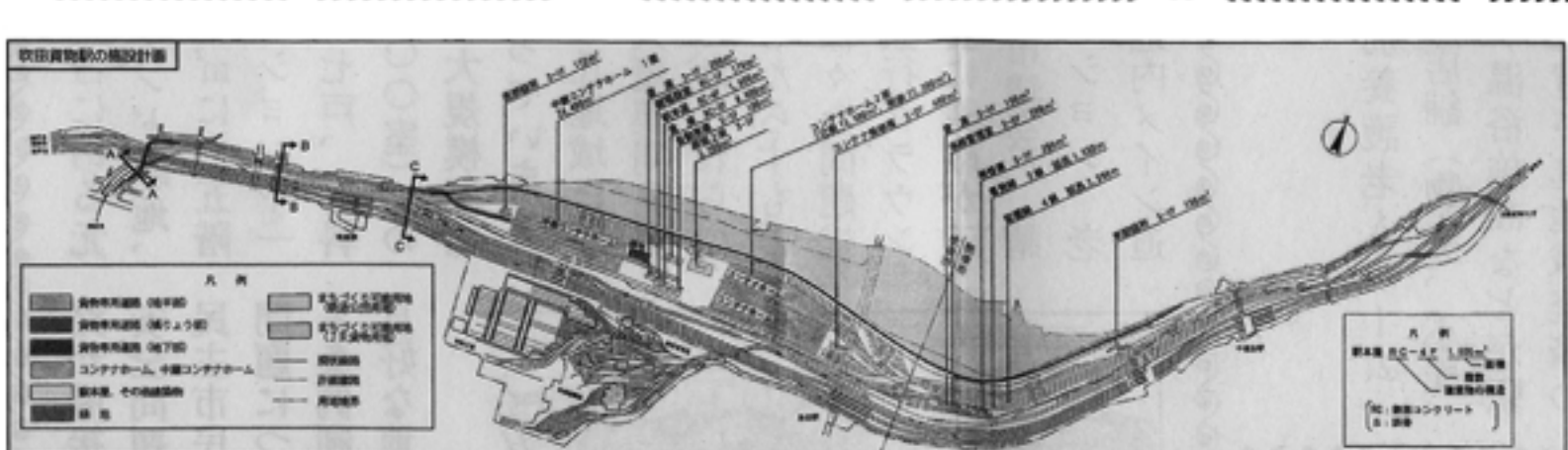
●現状の推移●
 平成十六年夏、環境影響評価準備書審査会答申が出され、市議会が設置をしている吹田操車場等跡利用対策特別委員会にて、民主市民連合として「取り得る環境対策は現状において最新のものとするのは勿論、将来に亘って、その時の最善を尽くすような対応を求める」旨の意見を中心に、市民への配慮を施策にて実施するよう意見が申し述べました。

この意見を始め、様々な考察を重ね事業者に対する市長準備意見書が出されました。

●これからの課題整理●
 今後、事業者は市長準備意見書に対する見解を記載した環境影響評価書を市に提出し、市はこれを告示・縦覧し、市民の意見書を受け付けます。市は評価書の審査を環境影響審査会に諮問します。審査会答申が出された後、市は市長準備意見書を事業者へ送付し、事業者より報告書の提出を受けます。この時点で最終段階になりますので、告示・縦覧に供します。環境影響評価条例上は、この告示日以後、工事着工ができることとなります。予定時期ですが、市民意見の数や内容、環境影響評価書の提出時期など不確定要素があるので、はっきりとは明言できませんが環境影響評価手続は粛々と進められます。

●政治に求められるもの●
 環境影響評価手続は、本事業計画に伴う環境面での諸問題をクリアするための手続です。本事業計画では、環境面その他に基本協定書に記載されている事項の課題を解決する必要があります。梅田貨物駅機能が吹田に移転することにより地域への影響を様々な角度から検証しなければなりません。経済波及効果を勘案しながら生活環境への影響を最小限に留めることが肝心です。

今後皆さまのご意見を受け止め、市政において反映がなされるような政策提言を積極的に行って参ります。



千里南地区センター再整備に関する課題

●共通認識

千里ニュータウン最初の地区センターとして開発された千里南地区センターは、施設の老朽化が進んでいることや、高齢化、少子化といった社会情勢の変化、また、生活ニーズの多様化など、住民意識が変化する中で、地区センターとしての役割が十分果たせなくなってきた。今後、市民のニーズを踏まえた再整備を進めていかなければなりません。

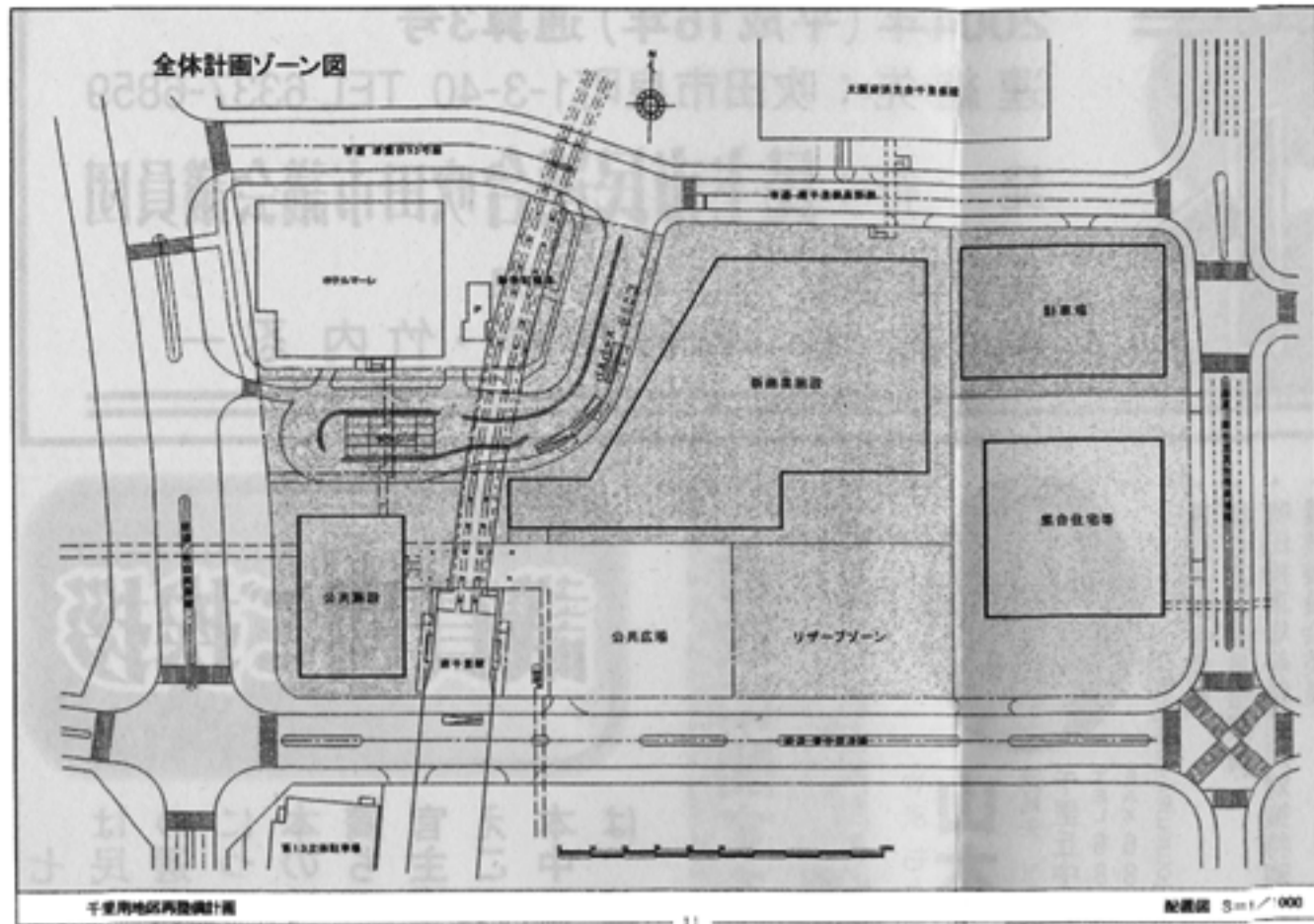
●現状の推移

吹田市が大阪府千里センターとともにまとめた「千里南地区センター再整備の基本的な考え方」では、主に①新商業施設及び駐車場、②集合住宅等、③公共広場等、④公共施設、⑤交通広場といったゾーンングになっています。現在、阪急オアシスを含む新商業施設や駐車場については、十一月末完成を目標に工事が進められています。

●これからの課題整理

集合住宅等については、周辺地域との環境の調和に配慮した整備が望まれます。公共広場については、地域コミュニティの形成と発展が図られるよう、一定規模の公共広場を整備することが必要と考えます。

公共施設については、現在ある施設の再整備だけで



なく、今日求められている施設のあり方や千里ニュータウンがこれまでに培ってきたノウハウを継承し、将来のまちづくりを活かせる場づくりなどについて、市民の皆さんと考えることが大切です。

また、交通広場については、人に優しいまちづくりの観点から、安全で快適なバス・タクシー乗り場などの交通広場の整備を目指していきます。

●政治に求められるもの

再整備にあたっては、千里ニュータウンの緑豊かな良好な生活環境を保全するとともに、現在、それぞれの施設が歩行者用デッキにより連結しているという特性や、恵まれた立地条件を活かすことが大切です。「千里ニュータウン再生ビジョン」をはじめ、今後市民の皆様の御意見を受け止め、市政において反映がなされるような政策提言を積極的に行なってまいります。

JR岸辺駅周辺まちづくり懇談会について

●これまでの経緯

岸部・南正雀地域では、昭和四十五年に岸辺駅前土地区画整理事業が都市計画決定されました。様々な懸念の中で思うような事業化がなされず、昭和五十年頃に岸部・南正雀地区まちづくり委員会が発足し、以来、地域住民との協力によるまちづくり構想の具現化と行政に対する申し入れを繰り返し行ってきました。

行政においては、その度に周辺地域の整備費や調査費というところで予算計上をしてきましたが、まちづくりの中心となる駅前の大規模工場の移転が実現しないまま今日まで経過したところです。

●現状における共通認識

今般、JR岸辺駅前の大規模工場が兵庫県・高砂市に移転し、跡地を一部売却、一部を賃借による事業化の構想をしたことにより、地域住民の永年の思いを実現させる機会が巡ってきました。

具体的には、市・都市整備部の主催でJR岸辺駅周辺まちづくり懇談会が開催され、駅前の大規模工場だけではなく、広く地域を捉え都市計画マスタープランによるJR以南地域の「にぎわい」の拠点として岸辺駅前土地区画整理事業などを含め、将来のまちづくりの方向性を目指して住民参加・参画のもとに意見を交換するもので

住環境を守る新芦屋上

新芦屋上の高台にある元三菱銀行グラウンド跡地、約四〇、〇〇〇㎡に十五階建ての高層マンションや一戸建て住宅八十七戸、有料老人ホーム(一〇〇室)、の建設事業という大規模開発計画がもちあがっています。このところ千里丘地域は銀行や大企業の所有地処分による跡地の大規模開発が続いていますが周辺地域の市民の皆さんはこれらの開発事業については大きな環境変化をもたらすものであり憂慮の声をあげると共に実際に様々な問題提起も行っています。新芦屋上の元三菱銀行グラウンド跡地の開発計画に対しても吹田市議会に請願が二件提出され、採択されています(五月市議会)。請願内容の主な趣旨・十五階建てマンション、老人ホームの及ぼす日影、環境問題、敷地内メイン道



路が隣接マンションに及ぼす影響、出入り口の交通安全問題、などについて解決をもとめるものです。民主市民連合市議団はこのような開発が及ぼす環境問題についてこれまで市長に対し開発の指導に関する条例制定の要請もおこなってきましたが、今後も良好な地域環境の保全についてとりくんでいきます。



特別養護老人ホーム、大規模店舗(物販)、小売、飲食、温浴施設などが駅前に配置され地域経済の活性化に寄与すると共に、交通動線の整理、駅前駐輪対策など永年の懸案事項について課題の整理をしながら、市民の声を跡地利用事業者や行政へ届けていくことが求められます。

●今後の課題

JR岸辺駅周辺まちづくり懇談会の中で、近々に意見交換をすべき課題とじっくり将来を見渡して考えるべき課題を分けて議論をしていくべきだと考えます。皆さまからの貴重なお声をしっかりと受け止めたいので、行政ができることを明確し、市議会を通して市政へ提言をさせていただきます。この事業により市民の皆さまに「潤い」と「豊かさ」のある暮らしの場を提供することで還元していくことを考えなければなりません。

●政治に求められるもの

民主市民連合としては、総論としてのまちづくりの全体像とJR岸辺駅周辺まちづくり懇談会の課題整理をしたうえで、より多くの市民の皆さまと同じ視点に立ち、政治における役割を担う努力をして参ります。

9月市会・定例会が始まりました

十日、理事者による提案説明があり、以降、各議員による代表質問・個人質問があります。会派・民主市民連合からも数名の質問者が登壇します。

上程された案件の内、各常任委員会へ付託された案件について審議を重ねます。財政総務委員会へは信田邦彦委員長、木村裕委員、文教市民委員会へは竹内忍一委員長、奥谷正実委員、福祉環境委員会へは森本彪委員、由上勇委員、建設委員会へは和田学委員、山本力委員が審議に参画しています。

他に市会議案、請願、閉会中事務調査などの議論などが行われます。

市民の皆さまからの声を活動していただきますので、是非一度、市議会へ傍聴にお越し下さい。

平成16年9月定例会日程

9月10日(金)	本会議(提案説明)
17日(金)	本会議(代表質問)
21日(火)	本会議(代表質問)
22日(水)	本会議(質問)
24日(金)	本会議(質問)
27日(月)	委員会
28日(火)	委員会
10月4日(月)	本会議(討論・採決)

各日とも、午前10時に始まります